

平成14年12月20日
第16回資料保存協議会セミナー
竹内秀樹（国立国会図書館）

「治す」から「防ぐ」へ — IFLA図書館資料の予防的保存対策の原則 (IFLA Principles for the Care and Handling of Library Material)

1 はじめに

- 1-1 IFLAとは、IFLA/PACとは
- 1-2 IFLA新原則翻訳の経緯

2 IFLA図書館資料の予防的保存対策の原則（1998年）

- 2-1 刊行の経緯
 - ・ IFLA資料保存原則 79年版、86年版、その概要
 - ・ 新原則刊行の経緯
 - ・ 3つの原則の関係
- 2-2 概要と特徴
 - ・ 全体構成
 - ・ 86年版と比較しての特徴
- 2-3 意義

3 おわりに

- 3-1 関連情報
 - ・ CLIRが開発したウェブベースの資料保存学習プログラム
- 3-2 木部さんへの問いかけ
 - ・ 新原則がコンサベーションを取り上げていないことをどう評価するか？
 - ・ 図書館員とコンサベーション、レストレーションの関わりはいかにあるべきか？

(資料1)

図書館における保護と修復の原則 (1979年)
(Principles of Conservation and Restoration in Libraries)

前文

- 1 本原則の性質と目的
- 2 保存の一般的所見
- 3 物理的損傷からの防護
- 4 生物的損傷からの防護
- 5 化学的損傷からの防護
- 6 修復の一般的所見
- 7 資料本体、紙葉の修復
- 8 製本の修復

(Ref.) 資料保存協議会訳「IFLA保存と修復の原則 (1979年) --抄訳」
[<http://www.con-con.org/conconlib/ifla01.htm>]

(資料2)

図書館資料の保存と保護の原則 (1986年)
(Principles for the Preservation and Conservation of Library Materials)

序論

背景－目標と定義－保存の目標－図書館の機能－図書館の政策－問題の規模の査定－選択性－
図書館の他の諸機能との関係－他の図書館との関係－保存政策との関連－訓練－協力

保存

図書館資料の保管と設備－温度と湿度－光－大気汚染－塵と清潔度－保管の材料と備品－建物
－基準

蔵書の保全

背景－火災－水害－戦争と天災－盗難－災害対策

蔵書の利用

背景－資料の防護－保管－図書館資料の移動－閲覧者と閲覧用施設－複写－複写方針－展示－
利用の制限－代替物

蔵書の劣化要因

生物的要因 (微生物－昆虫およびその他の有害動物)

化学的要因 (紙の化学的損傷－革およびパーチメントの化学的損傷－写真フィルムの化学的損
傷－硝酸塩フィルム)

(Ref.) 日本図書館協会資料保存研究会訳『IFLA資料保存の原則』日本図書館協会1987年 62p.

(資料3)

図書館資料の予防的保存対策の原則 (1998年)
(IFLA Principles for the Care and Handling of Library Material)

序文

1 序論

図書館資料の敵は？－なぜ保存するのか？－誰が責任を持つべきか？－どこから始めればよいか？－どのように始めればよいか？－何を保存すべきか？－図書館の財政にどのような影響があるか？－なぜ協力が必要なのか？また、誰と協力すべきか？

2 セキュリティと防災計画

セキュリティ－防災計画の立案

3 保存環境

温度と相対湿度－大気汚染と粒子状汚染物質－光－カビ－害虫と有害小動物－環境を改善する

4 伝統的な図書館資料

資料の装備－閲覧業務－保管方法と取り扱い－図書及び紙資料のための容器－展示

5 写真及びフィルム媒体資料

写真－フィルム媒体

6 音声・画像資料

オーディオディスク－磁気媒体－光媒体

7 媒体変換

コピー（電子式複写）－マイクロ化－デジタル化

8 用語解説

9 参考文献

10 関連機関

(Ref.) Adcock, Edward P. ed. *IFLA Principles for the care and handling of library material*.

(資料4)

参考文献

◆IFLAの資料保存活動

(1) 安江明夫「IFLAと資料保存」『図書館研究シリーズ』No.27 pp.1-13 1987年.

(2) 国立国会図書館編『アジアをつなぐネットワークー保存協力のこれからー』日本図書館協会 2000年 104p.

◆図書館資料の保護と修復の原則 (1979年)

(3) Members of the Standing Committee of the IFLA Section on Conservation. Principles of conservation and restoration in libraries. *IFLA Journal* 5(4) pp.292-300, 1979.

(4) 資料保存協議会訳「IFLA保存と修復の原則 (1979年) --抄訳」 [<http://www.con-con.org/conconlib/ifla01.htm>]

◆図書館資料の保存と保護の原則 (1986年)

(5) Dureau, Jeanne-Marie. *Principles for the preservation and conservation of library materials*. IFLA Section on Conservation, 1986. 25p.

(6) ジャンヌ=マリー・デュロー著 資料保存研究会訳・編『IFLA資料保存の原則』日本図書館協会 1987年 62p.

◆図書館資料の予防的保存対策の原則 (1998年)

(7) Adcock, Edward P. ed. *IFLA Principles for the care and handling of library material*. IFLA PAC, 1998. 72p.

[<http://www.ifla.org/VI/4/news/pchlm.pdf>]

(8) エドワード・P・アドコック編 国立国会図書館、日本図書館協会資料保存委員会訳「IFLA図書館資料の予防的保存対策の原則」 [http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/data_preserve_01.html]